



「大規模災害対策科（先遣隊・調査隊）」 訓練を終えて

訓練部

1. はじめに

未曾有の大災害をもたらせた「東日本大震災」の発生から1年6カ月が経った現在、地域の復興に向けては多くの課題を抱えながら、宮城県・岩手県・福島県を中心として復興が進み始めており、情報通信設備の復興に関しても、NTT東日本が2011年5月に発足させた「東北復興推進室」の発注に基づき、通信建設会社は着々と復興工事を推進させているところです。

一方、今日本列島は地震の活動期に入ったと言われており、想定されている「首都圏直下型地震」や「東海・東南海・南海地震」など、M7.0以上の地震がいつ発生してもおかしくない状況であるとも言われています。

2012年3月仙台市で実施した「第308回理事会・社長会」において、高江洲技術・品質委員長をリーダーとする「大規模災害対策検討PTの答申」について審議議了され、今後の大規模災害に備えて各種の検討事項や準備事項を明確にしました。

その内の一策に、発災時真っ先に現地に駆け付ける「先遣隊・調査隊」のメンバの選出と、そのメンバに対しての育成を速やかに実施するという施策事項に基づき、会員会社を対象とした「大規模災害対策科（先遣隊・調査隊）」訓練を東日本研修センターで3回、西日本研修センターで3回実施しましたので、その模様を紹介いたします。

2. 研修概要

◆大規模災害時において、通信建設業界が「アクセス設備保守業務」について一元的に請負っており、大規模災害時における通信設備復旧について能動的な復旧活動の責任と義務を負う立場から NTT 様と強固な連携の下、発災後速やかな設備復旧活動対応を行うため以下の部隊への研修を行うこととする。

1 発災後第1次対応で必要となる「先遣隊」の役割

- ①被災地への進入路・進入方法の調査～会社災対本部への報告
- ②被災状況の全容把握～会社災対本部への報告
- ③NTT 災対本部との調整
[ex 復旧範囲、復旧設備、復旧隊拠点、復旧部隊の構成・規模等]
- ④復旧部隊の前線基地調査・交渉～報告
[ex 復旧部隊宿泊基地、駐車場、およびライフライン(電話、電気、水道、ガス、トイレ等の状況)、食事の確保、生活物資調達場所等]
- ⑤宿泊場所の交渉～報告
[ex NTT ビルおよび現場近傍ホテル、旅館、民宿、民家、簡易プレハブ宿舎・テント宿营地等]
- ⑥燃料等確保の可否と場所の確認
[ex 工車用車両の軽油/ガソリン、プロパンガス、電気、水道、下水等の生活環境]

2 発災後第2次対応で必要となる「調査隊」の役割

- ①通信設備被災状況の全容把握～報告
- ②危険区域・危険建物等の把握～報告
- ③復旧方法の検討・概略設計～NTT 現地災対本部に提案・検討
[ex ◆重要回線の復旧(警察・消防・市町村機関・病院・交通機関等)
◆避難所への臨時特設公衆電話・臨時インターネット回線+PCの設置
◆孤立回避対策、就業可能ビル・居住可能ビルへの復旧措置]
- ④RSBM(リモートターミナル)等設備の被災状況把握と救済方法提案
[ex RT・RSBM等集線装置の被災状況および復旧方法の検討・設計等]
- ⑤復旧工事のための技術者のスペック別要員数の算出～提案
- ⑥復旧工事のための復旧資機材必要数の算出～提案
- ⑦復旧部隊の装備すべき装具の算出と会社災対本部に要請 等

(1) 「先遣隊・調査隊」の構成と役割

構成	主な役割	職位等
リーダー	①NTT災害対策本部との窓口・調整	部門長クラス
サブリーダー	②復旧工事対象範囲などの取決め ③材料調達方法の取決め ④竣工処理等の取決め	担当部長クラス
先遣隊A	①被災状況の現地把握 ②被災状況の記録・通建本社災対に報告	担当課長クラス [アクセス系：2名] [総務系：1名]
先遣隊B	③前線基地設営交渉および契約等 ④宿泊場所交渉および契約 ⑤設備復旧部隊の技術者構成・重機等必要数の報告・養成	
先遣隊C	⑥通信設備復旧用NS材料の手配、CS材料の調達要請等	
	⑦復旧部隊現地進入方法および進入ルート等の報告 ⑧復旧部隊の装備すべき装具類等の要請	

(2) リーダ研修の実施

①研修の主な内容

- ◆阪神淡路大震災（大都市直下型）、東日本大震災（プレート型）被害状況とその対応方法
- ◆大規模災害時の通信設備の復旧課題・問題に対する対策
- ◆大規模災害時の通信建設会社の役割
- ◆先遣隊・調査隊の役割
- ◆先遣隊・調査隊の具体的な業務の進め方

◆仮設テント等設営実習および災害現場調査・復旧方法研修

②研修日程

研修グループ		平成24年度		
		1回	2回	3回
東日本グループ [12社：62名]	第1班	7/10		
	第2班		7/13	
	第3班			8/3
西日本グループ [13社：78名]	第1班	5/15		
	第2班		5/29	
	第3班			6/20

3. 研修模様



NTT西日本・清水部長講話の聴講模様



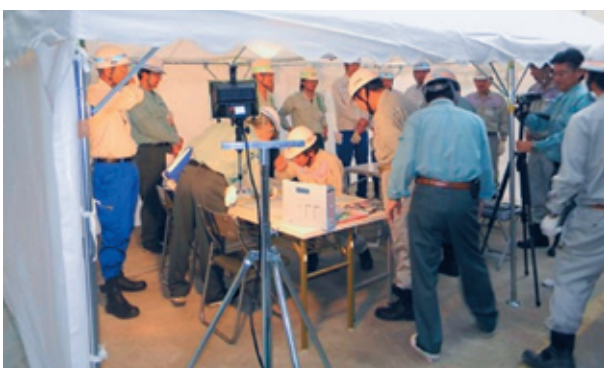
東日本システム建設・東方取締役講話の聴講模様



ITEA西日本研修センター・葦田所長講話の聴講模様



フィールドワークで現地仮設基地用テント設営模様

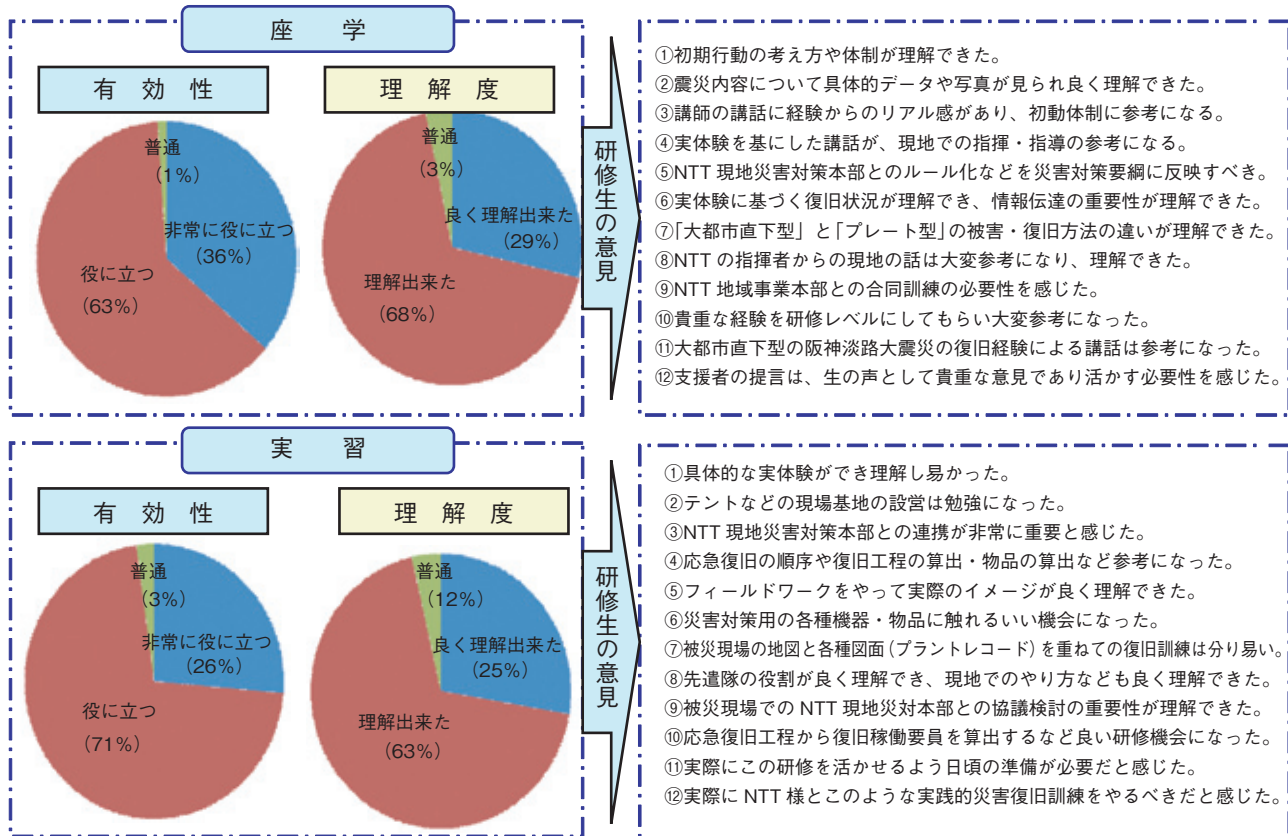


仮設基地から衛星携帯を使っでの情報交信模様



フィールドワークでNTT現地災対本部と復旧方法検討

4. 研修生アンケート内容



5. 「大規模災害対策科（先遣隊・調査隊）」の研修を終えて

本研修にあたり、NTT西日本の清水部長様、並びに(株)東日本システム建設の東方取締役様には、大変貴重な体験に基づく講話をいただきましたことは、研修生の声の通り説得

力のあるものであり、大変ありがとうございました。

この研修には、実習の時間が短かった…などの反省もありますが、全体的な感想としてかなり体感的にも理解が深まったのではないかと感じています。

しかしながら、「いざ発災！」の時、身体がスムーズに動くようになるためには一度のみの研修では困難であり、今後も各社においても自己研さんを続けていただくとともに、このような研修が今後も継続的に続けられるように検討していきます。